

第1部 計画の基本的な考え方

1. 計画策定の趣旨

笠松町は、これまで、平成13年度から平成22年度までの10年間を計画期間とする「第4次総合計画」に基づいて、まちづくりを進めてきました。平成16年度には、社会経済情勢の一層の厳しさや国の三位一体の改革の影響の下で、多様化する行政需要に適切に対応しつつ、町単独で持続できる行財政体質にするため、「行財政改革推進プラン」を策定し、効率的・効果的な事業の実施に努めてきました。

一方、長引く景気低迷を背景とした本町財政への影響や少子・高齢化の急激な進行、地球環境問題の深刻化、将来の笠松町を支える人材育成の必要性など、行財政課題の多様化に加えて、地方の自己決定、自己実現を基調とした本格的な地方分権の到来や住民自治の推進など、笠松町の経営環境は大きく変化してきています。

このような状況の中、本町の新たな発展のためには、町の歴史・文化、自然条件を現代の社会経済的条件の中で再生させることが重要であり、そこに新たに「笠松らしさ」を付加し、住民協働の理念のもとで町全体が「動いている」と実感できるようなまちづくりを進める必要があることから、そのような趣旨で新たに「リバーサイドタウンかさまつ計画」を策定するものであります。

この計画は、本町の行財政運営の基本となり、まちづくりの指針となるものです。

2. まちづくりのキャッチフレーズ

～まちの魅力の創造とネットワーク形成を目指したまちづくり～

3. 計画の特徴

「リバーサイドタウンかさまつ計画」は、キャッチフレーズである「まちの魅力の創造とネットワーク形成を目指したまちづくり」の実現に向けて、まちづくりを担う町民、事業者、行政が共有する理念や指針を描き、笠松町が重点的に進める施策や事業を盛り込んでいます。

施策や事業については、本町の財政状況が厳しさを増していること等から、特に本町固有の資源の効果的な活用を図るため、3つの基本目標と7つの重点課題を設定して、今後の新しい時代に適切に対応した計画としています。

また、この施策や事業を推進するためには、さまざまな手法を用いて住民参画を充実し、住民協働の理念の下で実現することを基本としました。

4. 計画の基本目標と重点課題

(1) まちの拠点づくり

○基本目標

- ・本町のこれからのまちづくりを進める上で、特に中心市街地において、その中心的な役割を果たす「まちの拠点」として「まちの駅」を複数箇所設置し、それを核としたまちづくりを進める。

- ・本町の市街地は古くからの歴史を持つまちとして、由緒ある街並みや集落環境に恵まれていることから、新旧市街地が調和を保ちつつ、良好な環境を創出していけるようなまちづくりを進める。
- ・中心市街地の「まちの駅」や鉄道駅を中心に、本町の歴史文化資源を最大限に生かし、「まちめぐり」が楽しめるような、安全で快適なネットワークづくりを進める。

○重点課題

1) まちの駅整備

- ①町内外の訪問者への「おもてなし処」としての「まちの駅」の整備
- ②情報発信拠点である「ふらっと笠松」の整備

2) まちづくり拠点施設整備

- ①「川のまち笠松拠点施設」整備
- ②国登録有形文化財「杉山邸」の整備

3) 歴史的建造物、文化的財産の利活用

- ①古くからの川湊の町として残っている伝統的建築物や寺社仏閣、古い街並みなどの歴史的、文化的財産の利活用

(2) 水辺の環境を生かしたまちづくり

○基本目標

- ・本町は川湊の町として繁栄・発展してきたが、時代の進展とともに川との関係も希薄となり、以前のような賑わいも見られなくなってきたことから、木曾川を笠松町の玄関口、人々が行き交う交流の場として、川を生かしたまちづくりを進める。
- ・本町の個性を生かした、広大な木曾川河川敷のスポーツレクリエーション利用を促進し、広々とした河川環境と景観を積極的に取り入れたまちづくりを進めるとともに、町外の市町村や町内外の観光スポット等とのネットワーク化を進める。

○重点課題

1) 川の駅整備

- ①町内外の人、川、情報の交流の場としての「川の駅」の整備
- ②「笠松みなと公園」、「あずまや」の利活用方法
- ③木曾川沿線市町村との「川の駅」の連携

2) 木曾川、木曾川河川敷の利活用

- ①広大な河川敷を利活用した、新しい時代のレクリエーション的土地利用の推進

(3) イベントによるまちづくり

○基本目標

- ・本町には、春まつりや川まつり、リバーサイドカーニバルに代表される、地域

資源を活用したイベントが全町的な体制の下に開催されているが、今後は、様々なニーズを把握しながら、地域特性や季節の移り変わりなどが楽しめる魅力あるイベントを展開していく。

- ・ イベントの実施については、住民による自主的、主体的な活動を促進し、イベントの企画から実施、運営まで、地域住民が中心的な役割を果たし、行政がそれを支援する体制を作り上げていくこととし、それにより、より一層町内の多くの人を引き寄せる原動力を築いていく。

○重点課題

- 1) 歴史的、文化的財産や地域特性を活かした個性あるイベントの開催
 - ① 「まちの駅」関連イベントの実施
 - ② 歴史的、文化的財産や地域特性を活かしたイベントの実施
- 2) 木曽川とその周辺を活用したイベントの開催
 - ① 木曽川を活用したイベントの実施
 - ② 「笠松みなと公園」、「あずまや」を活用したイベントの実施